

12月14日 フローレス海地震

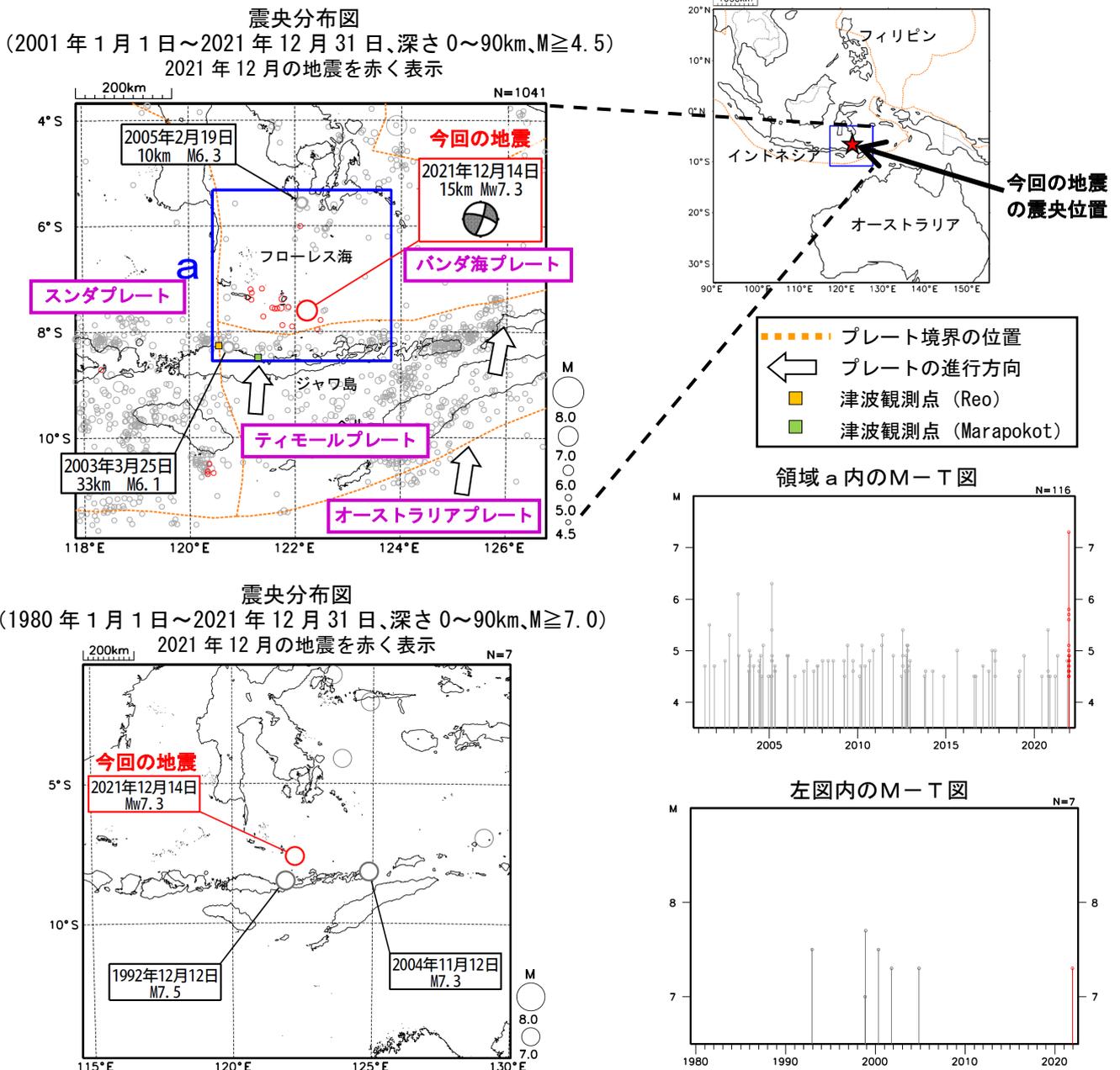
2021年12月14日12時20分（日本時間、以下同じ）にフローレス海の深さ15kmでMw7.3の地震が発生した。この地震はバンダ海プレート内で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日12時44分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

この地震により、インドネシアのレオ(Reo)ほか1点で0.07mの津波を観測した。また、負傷者43人、住家被害1,100棟以上等の被害が生じた。

2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震は今回の地震を含め3回発生している。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、1990年代から2000年代にかけてM7.0以上の地震が時々発生している。1992年12月12日のM7.5の地震では、津波を伴い、死者1,740人、負傷者2,144人などの被害が生じた。また、2004年11月12日の地震では、死者34人、負傷者400人などの被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2022年1月5日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) より引用。1992年12月12日の地震、2004年11月12日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。被害状況で出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による。今回の地震の被害は、2021年12月18日現在の状況。津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA) による (2022年1月5日現在)。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.